

メセナ・スポーツ振興

心の豊かさや健康をもたらしてくれる音楽やスポーツ。

社員のボランティアや実業団バドミントン部を通じて、メセナ・スポーツ振興に取り組んでいます。

ヴァイオリニスト川島成道氏支援とボランティア活動

ヴァイオリニスト川島成道氏の活動を1998年のデビュー時から継続して応援しています。毎年協賛しているニューイヤークンサートでは、目の不自由な方を招待し社員ボランティアが会場内外で誘導サポートする活動を続けています。2009年1月のニューイヤークンサートには一般の目の不自由な方、本社のある東京都江東区内の中学校や都内盲学校の生徒など、計116名の方を招待し、19名の社員ボランティアが誘導サポートを行いました。また2008年度は本社および3カ所の支社支店で川島さんのチャリティ社内コンサートを開き、募金や会場内でのチャリティグッズ販売を行いました。



社員ボランティアによる誘導サポート

日本ユニシス実業団バドミントン部

日本ユニシス実業団バドミントン部では、本社の所在する東京都江東区内の中学・高校生をはじめとする多くの子どもたちを対象にバドミントン講習会を開催し、バドミントンの楽しさを積極的に伝えています。このような取り組みにより、バドミントンの普及とともに、スポーツを通じた青少年の健全な育成に寄与していきたいと考えています。

2008年北京オリンピックに日本ユニシス実業団バドミントン部所属の男子ダブルス 坂本修一・池田信太郎組が日本代表として出場しました。また、2008年に女子バドミントン部が創設され、男女ともに社会人選手権大会などで上位の成績を収めています。



バドミントン講習会



北京オリンピックに
出場した坂本・池田
選手



女子バドミントン部

天使の歌声をICTでサポート

「天使の歌声」と称され、世界中のファンから愛されるウィーン少年合唱団。日本ユニシスグループでは同合唱団の日本公演を協賛支援するとともに、インターネット環境の提供を通じて、公演期間中の活動をサポートしています。いつでもどこでもeメールやインターネットを利用できる環境は、少年たちが本国の家族とやりとりしたり、スタッフのみなさんが公演の打ち合わせをする際になどに利用されています。



インターネット環境を提供

M E S S A G E

ウィーン少年合唱団芸術監督 ゲラルド・ヴィルト様から

ウィーン少年合唱団は伝統的にオーストリア出身者が多くを占めていますが、この数年は日本をはじめ他国の子どもたちも加わるようになりました。子どもたち同士で文化交流し、チームワークを培っていくことは、子どもたちの成長にとって、とてもいいことだと思います。公演期間中、子どもたちの心の状態は歌に影響するため、とくに配慮が必要ですが、eメールなどで離れた家族といつでもコンタクトできることが、子どもたちの安心感につながっていると思います。

日本の音楽ファンは、音楽に対して深い造詣と愛情を持っており、そういう日本のみなさまの前で毎年公演を開催できるのとても嬉しいことです。2009年は日本とオーストリア修好140周年にあたりますが、私たちの音楽を通じ、両国がより一層つながりを深めていくことを心から願っています。



ウィーン少年合唱団芸術監督
ゲラルド・ヴィルト様



子どもたちの成長や趣味の充実した時間が仕事の活力源です。職場では周りの方への感謝の気持ちをいつも忘れないように。
1985年入社 工藤 律子



適切な内部監査と正しい報告を心がけています。企業の社会的責任は一人ひとりのちよとした自覚の積み重ねによるものと思います。
1984年入社 大下 孝子